

山形県議会広報紙

県議会ナビ

vol.09

令和6年11月発行

県議会ナビとは、県議会では、若い皆さんに県議会に関心を持ってもらうため、平成28年度から年1回、県議会を紹介する広報紙を発行しています。

わたしたちの声、届け！



生徒・学生も県政に参加！

CONTENTS

- ◆議長&副議長×Y-ai!座談会 ～Y-ai!のメンバーが県議会に関する疑問をぶつけました!～
- ◆山形県議会でインターンシップ!
- ◆県議会傍聴体験レポート
- ◆県議会へようこそ

議長&副議長×Y-a-i-i座談会

Y-a-i-iのメンバーが県議会に関する疑問をぶつけました！

山形大学フリーパーサークル「Y-a-i-i(ヤイイ)」のメンバーが、

山形県議会の森田廣議長と、矢吹栄修副議長にお話を伺いました。

県議会の役割や私たちの生活との関係を教えてください。

議員として働く中で印象的だったことはありますか？

最後に、高校生や大学生に向けて一言お願いします。

県議会は山形県の発展のために、県民から意見や要望を聴いたり、県の仕事をチェックしたりと様々な活動をしています。また、交通網などのインフラの整備に力を入れて、皆さんの生活を支えられるように頑張っています。

議長…県議会議員になる前の出来事ですが、自動車運転免許の取得制限について法律が改正され、政治が多くなるとの生活を一変させた瞬間を目の当たりにしたことです。

議長…若者の皆さんには、ぜひ様々なことにチャレンジしてほしいです。どんなことにも明るく前向きにチャレンジして生きていくことが大切だと思います。

重点的に取り組んでいることはありますか？

副議長…公約を実現した際に県民の方にごく喜ばれ感謝されたことです。仕事で県民の皆さんに喜んでもらえる、大きな達成感があります。議員という仕事の魅力ですね。

副議長…「私だったらこうする」という視点で物事を捉えてほしいです。ただ与えられた課題を解くのではなく、我が事としての意識を持って課題解決してほしいと思います。

若者が地元に残るまちづくりを目指して、公共交通や教育機関の充実、子育てをしやすい環境づくりなどに力を入れています。

山形県議会には「開かれた議会」「活動する議会」「提言する議会」という3つのテーマがあります。特に「開かれた議会」では、県民との距離を縮めるという目標を持ち、若者や女性からも興味を持ってもらえるような取り組みを行っています。

山形県議会では、議会活動を広く県民の皆さんに伝え、身近に感じてもらうため、議会ホームページによる情報発信、広報誌の発行やテレビ番組による広報をはじめ、議場演奏会と議会見学会、生徒・学生と議員との意見交換会、県議会ギャラリーなどに取り組んでいます。さらに、議場での高校生の部活動発表なども今後予定されています。



森田議長(右)と矢吹副議長(左)

「開かれた議会」

山形県議会では、議会活動を広く県民の皆さんに伝え、身近に感じてもらうため、議会ホームページによる情報発信、広報誌の発行やテレビ番組による広報をはじめ、議場演奏会と議会見学会、生徒・学生と議員との意見交換会、県議会ギャラリーなどに取り組んでいます。さらに、議場での高校生の部活動発表なども今後予定されています。



議場演奏会

<<ホームページ>>
山形県議会の情報は
こちらから！



議長と副議長を囲んで

県議会 傍聴体験 レポート

山形県議会には政策提言型の特別委員会が3つあります。Y-a-i-iのメンバーから、それぞれの特別委員会で議論している様子をレポートしてもらいました。

議会の傍聴は、簡単な手続きで行うことができます。申出用紙に氏名や住所などを書いて提出するのみで、どんなでも気軽に傍聴できます。

どの特別委員会でも議論にかける熱量が感じられ、委員会に参加している全員がより良い山形県を目指して真剣に議論する様子は、心に訴えかけるものがあると思います。自分の視野を広げる良い機会となりました。



地域をまたぐ交通網の必要性について議論を行いました。実現させた場合に見込まれる自治体間の費用負担などの課題も考え、どうすべきかを話し合っている様子を見ることができました。

ジェンダー・ギャップ(男女の違いにより生じる格差)を減らすために何をすべきかの議論を行いました。県の担当課からは女性の課長が多く出席していて、委員からの質問に回答していました。

外国人材の受け入れ拡大について、多角的な観点から議論を行いました。一緒に働く外国人に対してどのような配慮が必要かという、これから社会に出ていく私たち学生にとっても身近に感じられる内容でした。

交通インフラ・
活力あるまちづくり対策特別委員会
「交通インフラ・ネットワーク整備による
地域活性化の推進」

こども支援・
女性若者活躍対策特別委員会
「女性の活躍・県内定着の推進」

人材活用・
経済活性化対策特別委員会
「外国人材を中心とした多様な人材の活用」

取材日の特別委員会は……

県議会って こんな場所



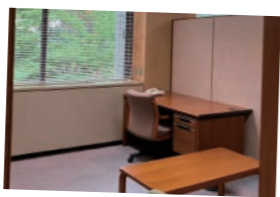
▲議員の登壇表示盤。議事堂の様々な場所に設置されています。議事堂と共にレトロな雰囲気です。



▲本会議場。議員全員(定数43人)が出席し、県議会の意思を決定します。



▲本会議場内に車椅子用傍聴席(4席)が新たに設置されました。車椅子を使用される方も安全安心に傍聴できます。



▲議事堂で議員が執務を行うスペース。議員一人ひとりに割り当てられており、打ち合わせなどもここで行います。



▲令和6年に新しくできた保育スペース。子どもと一緒にモニターで議会の様子を見ることが出来ます。授乳スペースやベビーベッドが配置されています。

山形県議会で インターンシップ!

今夏に県議会事務局での
インターンシップに参加した
山形大学学生3名に感想を聞きました。

政治に関する話についていけるのか不安がある中で常任委員会や特別委員会に参加しましたが、議論されていた内容は、大学で学んでいることや私たちの生活と密接に関係するものであり、県議会は身近なものであると認識が変わる体験となりました。

また、県政課題について、県民の声がくみ取られた議論が多く行われており、若者が政治に参加することの必要性を感じました。

(農学部3年 小関羽咲さん)

県政がどのように動いているのかについて詳しく触れることで、今まで以上に政治に対する関心が高まりました。特に、常任委員会や特別委員会では、県の課題や政策を学んだり、議員の熱意を感じたりすることができました。



若者の低投票率が課題となっていますが、一人ひとりが当事者意識を持って参画する姿勢を示していくことが、より良い政治をつくる第一歩であると思います。

(人文社会科学部2年 遠藤なつきさん)

意見交換会など、議員と直接お話しする機会をいただき、多くの議員が県民のためを思い様々な活動をしているとわかり、親近感を抱きました。また、常任委員会や特別委員会では、県民からの意見を踏まえた質問や、地域をより良くするための議論が行われていましたので、県民の皆さんからも本会議や委員会をぜひ傍聴していただきたいと強く感じました。

(理学部3年 都澤拓真さん)

県議会へようこそ

県民の皆さんに県議会を身近に感じてもらうため、様々な取組みを進めています。

県議会議員と 学校で意見交換！

県議会では、若い世代の方から議会を身近なものに感じてもらうことを目的に意見交換会を実施しています。学校の希望に応じて討論型・ワークショップ型・活動発表型など様々な形式で開催しており、若者の政治参加だけでなく、議会・議員に関することや県の施策に関することについても広く意見が交わされています。探究型学習や生徒会活動、学生ゼミ・サークルなど参加形態は問いません。希望する学校はぜひ、県議会へご連絡ください。



▲庄内農業高等学校生徒との意見交換会

県議会ギャラリーで 作品展示！

議事堂1階のロビーを「県議会ギャラリー」として開放しています。県内の児童、生徒、学生の皆さんが学校の授業や部活動などで制作した作品を展示することができます。

【展示対象】

工作、絵画、イラスト、ポスター、彫刻、書、写真、研究発表用パネル 等

【展示期間】1か月以内

【展示費用】無料



▲酒田光陵高等学校情報科生徒の課題研究発表の展示

県議会議員との意見交換会や
県議会ギャラリーについては……

お問い合わせ／県議会事務局議事調査課政策調査室
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号
TEL 023-630-2845 FAX 023-630-2853

県議会ナビの発行に当たっては、わかりやすさ・読みやすさはもちろんのこと、若い方の感性を生かしたデザイン・内容にしたいと考え、山形大学の学生に協力していただきました。より多くの若い皆さんに県議会や政治に興味・関心を持ってもらえるとうれしいです。

(編集) 山形県議会広報・広聴委員会

(協力) 山形大学フリーペーパーサークル「Y-ai! (ヤイ)」

人文社会科学部 2年・岩谷舞香さん、川口燈乃さん

三橋ひよりさん、宮崎由佳さん

地域教育文化学部 2年・寺西優太さん 3年・小林真子さん

農学部 1年・早川和花さん

編集・発行／山形県議会

〒990-8570 山形県山形市松波二丁目8番1号 ☎023-630-2845

編集後記



広報・広聴委員会の委員

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。